

# 保健体育科学習指導案

令和元年9月20日金曜日  
第5校時 3年C組 40名  
指導者 青木 将悟

## 1 単元名 「体育理論～人々をつなぐスポーツ～」

## 2 単元設定の理由

〈単元について〉

本単元は、現代生活におけるスポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会とその役割、人々を結びつけるスポーツから構成され、スポーツを通じた自己開発、オリンピックや国際的なスポーツ大会が国際親善や国際平和の役割を担っていることを知識として理解できるようにすることがねらいである。また、国際的なスポーツ大会を通して国籍や民族、年齢や性別、障害の有無などを越えて人々を結びつけ、各国相互の国際交流や国際理解につながっていることについて触れている。生涯にわたり生きがいのある豊かな人生を送る上で必要となるスポーツに関する知識を身に付け、その知識を基に実生活や国際社会との関連性を考察することが求められている。

〈学習者について〉

○学習の経験状況、興味・関心、意欲、学び方の状況、技能の習得状況

学習者の多くは、体を動かすことは好きだがボールを扱ったり複雑な運動したりすることは苦手である。幼少期から習い事をする学習者が多く、体を動かす「時間・空間・仲間」がなく、遊びの中での身体活動の習得が少なかったと考えられる。しかし、体育の授業には積極的に取り組み、学びのポイントを理解している学習者が多くいる。自分の体力や技能を高め、楽しむために積極的に運動を行うことができ、学習活動を素直に実践しようとする。

○体力実態、質問紙調査結果

昨年度の新体力テストの結果では、反復横跳び、20mシャトルランが全国平均を上回っているが、ハンドボール投げ、50m走は大きく下回っている。生活習慣等アンケートの結果では、「運動やスポーツをするのが好き」は男子100%女子95%(19人)いたが「運動やスポーツが得意」は男子40%女子30%と少なく「運動は好きだが苦手」という生徒が多いという結果になった。リーダーシップをとれる男子が多く、体育の授業でも活発に動く学習者が多い。女子はどちらかというと内向的な生徒が多い。定期的に運動をしていた学習者は男子80%女子30%と女子が少なく、女子の内10人は体育の時間以外に体を動かす機会がほとんどない状況が幼少期から続いている。主な理由として遊びの中の身体活動(時間、空間、仲間)の減少、習い事による多忙化が考えられる。ボールの扱いなどにも慣れておらず、スポーツテストのハンドボール投げの結果にも影響しており、運動が十分とれている学習者とそうでない学習者が二極化している。3年生となり運動から離れている学習者が多いため自分とスポーツや運動について考えるよい機会になると思われる。

〈指導・「問い」の工夫について〉

本単元では座学中心の体育理論に実技を取り入れることで、理論だけでなく実践を伴う授業を意図した。そして、発問を構造化することで学習者の理解を深め、知識を実生活に生かせるようにした。

## 3 単元の目標

- 文化としてのスポーツの意義について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組むことができるようにする。(態度)
- 文化としてのスポーツの意義について、学習した知識を活用したり応用したりすることができるようにする。(思考・判断)
- 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。(知識)

#### 4 単元の評価規準

	ア	イ	ウ
	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動についての知識・理解
単元の評価規準	文化としてのスポーツの意義について、課題を解決するための活動などを通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	文化としてのスポーツの意義について、学習した知識を活用したり応用したりしている。	文化としてのスポーツの意義について理解している。
学習活動に即した評価規準	①文化としてのスポーツの意義について意見の交換をしたり、自分の意見を発表したりするなどの活動を通して、常に自主的に学習に取り組もうとしている。	①国際的なスポーツ大会とその役割、スポーツの人々を結びつける文化的な働きについて、必要な情報を収集し比較したり、分析したりして、まとめた考えを根拠を示し説明している。	① 生涯にわたり健康でよりよい生活を送るためのスポーツが重要であることについて具体的に言ったり書き出したりしている。 ② オリンピックや国際的なスポーツ大会が国際親善や国際平和の役割を担っていることについて具体的に言ったり書き出したりしている。 ③ スポーツが人々を結びつけていることについて具体的に言ったり書き出したりしている。

#### 5 単元指導計画

	めあて	学習活動	問いの工夫	振り返り	
1	文化としてのスポーツの意義を理解する。				ア ①
	現代社会におけるスポーツは、生きがいのある豊かな人生を送るために三つの意義があることを理解しよう ①健やかな心身 ②豊かな交流 ③伸びやかな自己開発	①自分の過去・今・将来でスポーツとどのような関わりを持つか表にまとめる→ 他の人の意見を聞き、自分の表と見比べ新しい発見する	①今までにしたことのあるスポーツを上げてみよう ②その他友達がしていたもの見たことがあるものを加えてみよう ③スポーツをする目的をより多くあげてみよう	現代スポーツの意義を理解し、自分の生活や将来とつなげることができた	
2	国際スポーツの種類と歴史、役割を調べ班で発表しよう→ スポーツの良さ魅力を挙げよう	教科書やインターネットを使って、国際スポーツについて調べ学習をする	各班で国際大会をインターネットで調べて発表し、共通点を探そう	国際的なスポーツ大会の役割は①国際親善②世界平和が共通していることを見つけることができた	イ ①
③ 本時	スポーツにはどのような役割があるか考えよう	①オリンピック・パラリンピックの映像を見る ②夏季オリンピックの参加国の変遷	発問「スポーツは〇〇の違いを超えて」〇〇に入る言葉と具体例を話し合おう	①スポーツという言葉が世界中に広まっていること ②単に運動というだけでなく文化として変化している ③様々な大会が実施されている	ウ ③
4	バレーボールでみんなが楽しめるように運営しよう	①男女別でバレーの試合をする ②男女同一チームでバレーの試合をする	みんなが楽しめるようにするためにはどうすればよいかまた、スポーツの楽しさにはどのようなものがあるか 実践を取り入れることによって理論をより実感できるものにする	一緒に楽しむ具体的な方法を見つけ出し発表できた	ウ ③

## 6 本時の展開（3時間目／4時間中）

- (1) 題材 「人々を結びつけるスポーツ」
- (2) ねらい グループでの学習を通して、スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結び付ける文化的な働きがあることを理解できるようにする。
- (3) 本時における「問い」の工夫 発問を構造化し、考えたことを実生活に結び付けることによって理解を深める
- (4) 展開

時間	学習内容及び学習活動 ◆指導上の留意点	評価方法及び評価規準
はじめ 10分	<p>1 あいさつ，前時の確認をする。(2分)</p> <p>2 発問①を考える(3分)</p> <p>発問①言葉の通じない国の中学生と仲良くなる方法を考えよう</p> <p>3 本時のめあてと評価項目の確認をする。(5分)</p> <p>めあて：スポーツにはどのような役割があるか考えよう。</p> <p>評価：スポーツの役割について具体的に言ったり書き出したりしている。(知識・理解)</p>	<p>ゲーム，スポーツ，趣味</p>
なか 20分	<p>4 ①言葉の通じない国の中学生と仲良くなる方法を考えよう</p> <p>②スポーツならどのようにすれば一緒に楽しめるか(5分)</p> <p>③オリンピック・パラリンピック，アダプテッドスポーツの映像視聴(5分)</p> <p>発問②「スポーツは〇〇の違いを超えて」の〇〇と具体例を出し合おう。</p> <p>→ワークシート記入→発表(10分)</p>	<p>ルールの共通化</p> <p>期待される答え ・人種・性別・民族・障害の有無・年齢・地域・風土</p>
まとめ 20分	<p>5 振り返り</p> <p>振り返り：スポーツには人々を結びつける役割がある</p> <p>・ワークシートを使い学習を振り返る(15分)</p> <p>夏季オリンピックの参加国の変遷とアジアカップの競技の問題を見る。スポーツという言葉が世界中に広まっていること、時代によってスポーツの解釈も変わってきていることを理解する。</p> <p>6 ・次の授業の男女共修バレーボールの運営を通して、「スポーツは性別の違いをこえて」の計画を立てる。(5分)</p> <p>発問③男女共修でバレーをして全員が楽しむためにはどのようにしたらいいかをチームで意見を出し合い、ルール作りをする。</p>	<p>○ワークシートによる評価(知・理)</p> <p>おおむね満足</p> <p>・出てきた問いの答えとスポーツとの結びつきを理解し、スポーツが人々を結びつけていることが理解できている。</p> <p>努力を要する学習者への手立て</p> <p>・次時のバレーボール運営の振り返りをまとめさせる。</p> <p>・ルールの変更 ・道具の工夫 ・チームの工夫 など</p>

(5) 板書計画

- めあて スポーツにはどのような役割があるか考えよう。
- 評価 スポーツの役割を見つけ、言ったり書き出したりすることができる。

問① 言葉の通じない国の中学生と仲良くなる方法を考えよう

ゲーム、遊び、スポーツ

スポーツならどのようなことに気を付ければ一緒に楽しめるか  
⇒ ルールの設定、道具の工夫 など

問② スポーツは〇〇の違いをこえての〇〇と具体例を出し合おう

⇒ スポーツという言葉が世界中に広まってきていて、解釈も変わってきている。

振り返り **スポーツには人々を結びつける役割がある**

オリンピック参加国の変遷のグラフ

アジア大会競技種類のグラフ

単元「文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする」

① 単元の目標は何か（資質・能力）

○文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。

ア. スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であること。

イ. オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。

ウ. スポーツは、民族や国、人種や性、生涯の違いなどを超えて人々を結びつけていることを理解し自分の生活や将来に結び付ける。

④問題意識を持たせるために、どのような導入を図るか（③を届けるために）

- ・身近にあるスポーツと、オリンピックなど国際的なスポーツ大会の映像を見て。「する・見る」の観点を踏まえて、スポーツの意義について考える。
- ・体育理論と実技の授業の課題学習をすることにより、自分の人生や生活にリンクさせる。

「問い」の工夫Ⅰ  
 発問の構造化  
 「言葉の通じない国の中学生とどのように仲良くなるかを考えよう。」

⑥使える資料は何か。どこで使うか。

オリンピックやパラリンピックの映像

③どのようなめあて、課題にするか（各教科の見方・考え方が働くもの）

- ・スポーツの役割を考える
- ・国際的なスポーツ大会が果たす役割を考える
- ・スポーツの文化的な意義を知る

⑤どんな追及活動を行わせるか（言語活動含む）

- ・「スポーツは○○をこえて」という問いを考え、班で発表する。
- ・次の時間の球技で皆が楽しめるためのルールを考え実践することで実感を伴った活動をする。

「問い」の工夫Ⅱ  
 発問の構造化  
 「スポーツは○○の違いをこえて」を考えよう。

座学を実技に繋げることで、主体性を高めるとともに、実生活に活かす。

②単元の最後に理解させたいこと、発言させたいことは何か（単元のゴール+振り返りの視点）

スポーツは○○（人種、国、民族、性別、障害の有無、年齢、地域）の違いをこえて人々を結びつける役割があることを理解する。オリンピックなどの大きい視点だけでなく、自分の生活の中でも実践していくことを理解し、経験することで今後に活かしていく。

⑦まとめの表現活動をどうするか  
 ワークシート、発表